

多久市健康推進員

▼市民の健康増進に心強い今年度の推進員



赤ちゃんからお年寄りまで 健康推進中！

健康推進員は、昭和61年に発足し多久市で行う保健事業のサポートをしています。現在は31人で活動。母子健診でのお手伝いや、赤ちゃんが生まれた家庭を訪問し、予防接種や健診の受け方などをお母さんに話したり、相談相手にもなっています。近所に知り合いがいない若いお母さん達から「何かあったら相談できるので助かる」と信頼され、訪問先へプレゼントする手作り小物も好評です。

また、各種検診でも会場でのお手伝いや近所の方へ検診の受診を勧めています。健康に関する知識や関心を深め、予防に関する住民のリーダー的役割を担うため、毎月の定例会や研修会に参加し、知識を高めています。

太田会長は「赤ちゃんからお年寄りまで幅広く健康を推進していきたい」と話し、推進員の知識向上や市民の健康増進に意欲的です。

問 健康増進課 ☎75-3355

ふ・わ・あ・い・ひ・ろ

●連載2● 郷土資料館で学ぶ多久の歴史

『多久の絵図展』

佐賀県重要文化財「多久家資料」には200点あまりの古地図や絵図があり、うち150点あまりが江戸期に描かれた多久領の地図です。今回はそのうち20点を展示しています。

かつては山だった場所が切り拓かれて市街地になったところがある一方、昔の様子がそのまま残っている場所も多くあります。今回の展示は、先人たちが残した地図から、多久の歴史と江戸時代の人々のくらしに親しんでいただきたいと企画しました。江戸時代の多久にふれ楽しく学んでください。



◀嘉永4年(1851)の絵図に描かれた、多久町東の原、小井手橋付近。

まだ橋が架けられておらず、飛び石で川を渡って

いました。多久川(牛津川)に架かる橋は多久町東町の棕ノ瀬橋だけで、こうした飛び石が数か所に設けられていました。

多久市郷土資料館企画展

『多久の絵図展』

会場 / 多久市郷土資料館 2号・3号展示室

会期 / 5月20日(金)～7月31日(日)

休館日 / 月曜日(月曜が休日の場合は翌火曜休館)

開館時間 / 9時～16時 入館 / 無料

■問い合わせ 多久市郷土資料館 ☎75-3002

川柳

《多久市川柳会 互選》

庭師さん 丸くつつじを 坊主刈り
山歩き つつじの紅に ひと休み 猪ノ口昭子
爺婆は まだ元気かと 来るツバメ 田代まつ子
無気力が 元気を出せと お説教 松下 修
雨降って 地固まらず すべり落ち 大谷 和
古井のぶ子

俳句

《檜樹句会 互選》

沈丁の 匂ひ 滲ます 孤独の 灯^{ひかり} 不二見恵美子
卒業の 孫は袴で 初々し 野田キヌ子
こぼれ種 なたねの花は 里囀^{さえずり} 大坪 蒙仁
水^{みづ}温む 少女の腕に 痣一つ 春田 泰子
花人^{はなびと}となりて 押し行く 車いす 納富 芦風

短歌

《麦の芽短歌会 互選》

雨やみし 故郷^{ふるさと}の山 近く見ゆ 内田 龍子
ふところぬくし 父母あるごとく
車椅子 寄合いながら 無表情 語らい 無くて 昼の膳待つ 田淵ミチ子
持ったまま 逝くわけいかず この荷物 無駄遣ひせし 報ひなりしよ 本村 則子
鶯の 声に 目覚めし 心地良き 寒さのトンネル 今日より 抜ける 梶原恵美子
描き続けし 父の 因子を うけつぎて 尾形 節子
撮り続けいる 弟が在る

市民文芸